



# きらめき亀山21

きらめき亀山21広報部  
amani@helen.ocn.ne.jp

第12号

2002年3月21日発行

かめさん

## 第2回市民交流会「きらめき亀山21」 盛大に開かれる！

集まった300名！！

語り合った「みんなのために」！！



座りきれなく  
立見の人も多かった  
全体会  
2002年2月24日  
青少年研修センター

開催時間が近くなると、途切れることもなく入ってくる人…人、会場に入ると座ることもできないほど。その周りの壁面を取り囲むパネル展示や写真。オリエンテーションを終え、各部屋に分かれてのジャンル別分散会。どのジャンルも老若まじえた多くの方が、和気あいあいと話し合いをしています。もっと時間がほしい…多くの皆さんの声でした。

全体会。亀山の未来を創る高校生たちの司会により、各ジャンル代表がまとめを発表。古市実行委員長から、この交流会を機会に、市民の力を合わせた新しい活動が生まれることを期待するメッセージがありました。交流タイムとして、今回初めての試みとして地産地消を実践した豚汁を食べながら、お互いに感想を言い合い、展示物を見たり、またそれぞれの会の説明をしたり・・・時間があっという間に過ぎました。

高校生から80歳台までの300名の参加して下さった市民の皆様、60名からの実行委員の皆様。すごい張り切りようで300人分の豚汁を作った女性たち。みんなが力を合わせるとこんな素晴らしいことができるのです。

参加して下さった皆様、まだまだ話したりない皆様、この1日だけで終わることなく、毎月21日の定例交流会で、各分科会で、今日のこの時間を元にいろいろな話し合いを続け、市民みずから実行していきましょう。



そろいのエプロンで張りきるトン汁班  
材料は前日にかき集めた地産地消で。

目次:

第2回市民交流会 きらめき亀山21	1
第2回市民交流会 きらめき亀山21 分散会ダイジェスト	2
彦根の町並み見学会	3
これからの行事予定	4



### 坂本のミツマタの花を見に行く会

(悪天候中止)

日時：3月24日(日) 午前11時市役所集合  
各自マイカー乗り合いで棚田まで移動

11:30~12:00 林道歩き  
12:00~13:30 現地で花見昼食  
14:00頃 市役所帰着予定  
棚田保存会の皆様より  
解説等いただけます。

昼食は各自持参ください。

3 Km程歩きますので靴は運動靴等がいいです。安全な道です。ご家族連れでどうぞ。



## 「第2回市民交流会ジャンル別分散会ダイジェスト」

### ●歴史・文化

地域学で郷土再発見。街道に息づく歴史文化、古歌が伝える亀山の歴史文化を、子供達に伝えていきたい。町並み保存は、空気のようなものの、昔の建物を残すだけでなく、その住む人達の考えつながりも残していくべき。他所から訪れる人が増えている、もっと亀山をアピールしたい。

### ●福祉

公共施設に障害者用トイレなどの表示を判るようにはっきりさせたい。ノンステップ型の巡回バスを広い範囲に運行して欲しい。自分達の地域で介護支援が出来るようにしたい。社会的弱者を、身内として市民として積極的に支援し、バリアフリーのまちづくりを進めたい。

### ●地域の活性化

まちなかから離れた地域への対応、高齢者への配慮、農林畜産御油の後継者問題、商店街の賑わい復活、地産地消の推進。自分達で企画し実行することが活性化につながる。主語のある地域の顔が見える行動。地域やグループを超えたネットワークづくりが地域やグループを活性化させる。

### ●健康・スポーツ

健康管理をしてスポーツを楽しもう。年少者年長者の連携や地域を含めて、児童のクラブ活動支援。子ども、高齢者など、年齢・レベルに応じたスポーツメニューを揃えて自由に参加できる総合型地域スポーツクラブのような組織作りをしたい。課題は、関係者の理解、組織立ち上げの各になる人探し。

### ●教育

いじめや不登校対応、青少年犯罪など問題山積。今、子供達ために大人が出来ることは；大人の教育力レベル向上、子育てを親や学校任せでなく地域で育てる風土作り、地域で最低限の社会ルールを教えられる環境作り、大人自身が行動し若者に示すこと。

### ●環境

ゴミのポイ捨てを無くすには、あらゆる機会を捉えて、ゴミ発生源の責任自覚も含め、弛まぬ啓蒙運動で対応。鈴鹿川水系に魚を呼び戻すには、水質を悪化させないこと、治水事業の改善、川の魚に親しむ感性を養う。里山棚田の維持には、魅力体験などを通して支援者を増大させる。



歴史文化は和室で語りあう



環境を語りあう参加者たち

### アンケートより一部抜粋

- ★若い人の発表もあり楽しく過ごさせていただきました。新しい世界を垣間見たような気がします。
- ★昨年に引き続き二度目の参加ですが今年の方がわかりやすいと思った。
- ★昨年とは打って変わって参加者が積極的自発的自主的。本当の市民参画が実現するまで頑張ろう！
- ★自分達に何が出来るか、自分から進んで行動することは難しい。実行委員会が行動できる(具体的に)チャンスをつくってください。
- ★福祉面は大きくて長い目で1歩づつ歩むことが大切だと思います。亀山市をよくする為には、ほかの会ともふれあい一緒に考えて横の面でのつながりを持つことも大切だと思います。
- ★若い人(学生を含めた)をさらに動員できる組織になるべきと感じました。なぜなら、問題点も、解決策も現状からはずれてしまわないため。特にこれから取り組もうとする案は若い者でなければできない。



## 彦根の町並み見学会に51名が参加

彦根の町並み見学記（町並み保存分科会主催、2月28日）

参加者：51名

地元では彦根商工会議所の安達氏が対応、住民主導のまちづくりに中心的に関わり、現在も乞われて夢京橋商店街振興組合副理事長をされている北村氏が、夢京橋キャッスルロードの話をしてくれた。

「夢京橋キャッスルロード」建設に到る背景には、城下町特有の狭い道のため交通渋滞が頻発、往時は琵琶湖の対岸からも買い物客が来て商店街は賑わったが、昭和54年頃からの大型量販店進出により中心部の商店街の衰退が始まった。

昭和60年、市から交通渋滞を解消するために6mの道幅を18mに拡幅、併せて、まちの活性化回復を目的にした本町地区道路拡幅事業の説明を受けるが、当初は住民の拒絶にあった。



熱心に話を聞く参加者

住民主導のまちづくりの気運が出てきて、昭和61年から活動開始。これには、交通渋滞の解消が逼迫していたこと、ほとんどの家が昭和初期の建築で、筑後100年古いものは400年を経ている、建替えの時期に来ており補償金でほぼ建替え費用が賄える、という事情があった。

まずは、1年かけてアドバイザー（1級建築士）を入れて検討（費用1年分100万円を予算化）、日曜日にまちを見学して見直したり、他の町を見学するなどの勉強会（バス代は自己負担、物見遊山ではなく勉強会）を開催。

まちづくりコンセプト：江戸町屋風、耐久100年、純木造。

夢京橋キャッスルロードが成功した重要なポイントを挙げると、

- ・利害関係のない、地域で人望のある人（小児科医）が代表者になってくれたため、地権者78軒の合意取り付けを比較的スムーズに進めることができた。

- ・修景基準を作ることにより、統一された町並み作りが実現できた。18mの拡幅に、更に、家の柱は1m奥へ下げて建てる（実質20mの拡幅）。18mの道路巾は向う側を歩く人の顔が

判別できる距離。

- ・市民境界は当事者同士で解決、不介入。
- ・季節の行事を企画：桜祭り、ゆかた祭り（1万5千人の人出）、城祭り、など。
- ・配慮事項：ゴミ箱は設置しない。ゴミ処理は商店主。道路植栽はケヤキ。落ち葉は町民で処理。街灯の維持管理は商店組合で。町民で出来ることは町民でやる主義。公衆トイレの設置。広報紙「まちなみ通信」で、まちの人に啓蒙。景観に合う郵便ポスト、消火栓、道案内標柱、など。商店だけでなく民家もある。テナントにはグレードの高い店を呼ぶ。風俗営業ができない町。工事中の移転先には仮設住宅も用意。
- ・行政担当者が8年間同じ人。職員の交代で話が繋がらなくなる弊害を排除。担当者の熱意。

再生まちづくりの効果として、

- ・昔あった20数軒の店が衰退して7～8軒になったのが、今は50数軒。出店希望が多く順番待ち。
- ・元の町は3割が商店で7割民家、今は9割商店で住まい2～3軒、空家1～2軒。
- ・客の6割は地元、新市街地からも訪れる。
- ・彦根の観光客は年60万人、夢京橋には40万人が訪れる。

北村氏の話聞いた後、たねやで昼食を摂り、町並みを見学した。建物は統一された外観で構成される町並みで、それぞれが工夫を凝らした店作りをしており、店の中を覗き見して歩く楽しみがある。あかりをテーマにろうそく作りを体験出来るろうそく屋、子供達を惹きつける昔懐かしい駄菓子屋（ここは、北村氏の店、もとは公衆浴場を運営していたとか）、昔ながらの手作り漬物屋、秤売りをする酒屋、など。背景や取り巻く環境が異なるゆえ、丸ごと取り入れることはできないが、亀山のまちの活性化について、学ぶことが多い見学会だった。



昔は銭湯を経営していたという北村さんには、わかりやすく経過を説明していただきました。



来れなかった人にお土産は何がいいかな？



自然環境保護の講演会等活発に開いている  
 「亀山の自然環境を愛する会」  
 写真は3月6日の、「美しい三重の海」維持  
 創造プロジェクト説明会

メールのできる皆様は「きらめき亀山21」メーリングリストに加入してく  
 ださい。無料です。携帯でもOK。kirakame21@freeml.com に  
 メールを送るだけで他の加入会員全部にメールが届く便利な手  
 段です。現在50名の皆さんが活発に意見交換しています。  
 HPのトップ画面から加入できます。

「きらめき亀山21」ホームページ

<http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>  
 毎日20件程度のアクセスがあり常に最新の情報を  
 発信しています。

今後の「きらめき亀山21」関連の行事

ミツマタの花を 見に行こう会	3月24日(日) 11:00～14時頃	11:00 市役所集 合 弁当各自持参	坂本の里山に咲き乱れるミツマタの花 をピクニック気分で見に行こう。
町並み保存	3月28日(木) 19:30～	市役所3F	「宿場の賑わい復活プロジェクト」 三重県の事業として動き出す。 本町・東町への屋号看板推進について
地域の活性化を考える会	4月1日(月) 19:30～	市役所3F	七夕準備・空き店舗活用案他
亀山の自然環境を愛する会	4月3日(水) 19:30～	あいあい	鈴鹿川流域の維持・改善
亀山春のまつり	4月7日(日) 10:00～18:00	お城周辺	伊勢漫才・葛葉太鼓・お茶席・花つ くり講習会・ 市民グループの出店・ 大正琴・日本舞踊等々
亀山国際交流の会	4月10日(水) 19:30～	市役所3F	定期総会です。K I F Aの会員の皆様 はぜひとも出席ください
企画広報リーダ会議	4月15日(月) 19:30～	市役所3F	
バリアフリー	4月20日(土) 13:30～	あいあい	障害児をもった親御さんの語り をもとに話し合おう
生涯学習	4月21日(日) 18:30～	市役所3F	
定例全体交流会	4月21日(日) 19:30～	市役所3F	市民の皆様どなたでも参加ください
人いきいきネット	4月25日(木) 19:00～	白子駅前 情報百貨店	「いきいき人」と知り合おう。語り合おう。 みんなに想いを広げよう。

編集作成：「きらめき亀山21」広報

amani@helen.ocn.ne.jp